



社会福祉法人青森社会福祉振興団・特別養護老人ホームみちのく荘

まるめる通信

【まるめる通信 / 第 135 号】

発行／(福) 青森社会福祉振興団
特養みちのく荘 ☎0175(23)1600
特養金谷みちのく荘 ☎0175(23)0781
みちのくクリニック ☎0175(23)1171



●取得認証●
・ISO 9001
・青森県認証介護サービス事業所

雪まじる 風を感じ あるがまま
心の風景 ただ書くだけ

やまだ しげる
山田 茂 さん

昭和23年生まれ 71歳 / 黒石市出身

私の小径
こみち



「大切な孫を思い浮かべて描いた水彩画だよ。」と話してくれた茂さん。

山田茂さんは、青森県黒石市で姉と妹の3人姉弟の2番目として生まれました。
小さい時は、父や知人の影響で山野を歩くことが好きで、十和田湖・八甲田山周辺の野山をたくさん歩きまわりました。季節によって、両親と山菜やキノコを採りに行った事は良い思い出です。
高校を卒業後は関東に進学し、就職しました。一時、津軽へ帰ってきましたが、諸事情により再び関東へ戻ります。
働き盛りの中、3度の大病で命の危険にさらされ、最後の闘病時に娘の世話により関東の大病院から、弘前市内の医療施設へ転院となりました。一生懸命リハビリを行い、症状はだいぶ良くなりましたが、後遺症があるため一人暮らしは難しい状況でした。

そんな時、むつ市に住んでいる娘の勧めで、敷地内にクリニックを併設している「ケアハウスみちのくグリーンリブ」に2019年に転居し、現在に至ります。
茂さんには、小学生の頃から続けている「絵」を描く趣味があります。絵を描くためには画材が必要なので、学生時代は少しずつお金を貯め、お金が貯まったら弘前にある画材屋へ買い物に行っていました。
「本当は水彩画ではなく油絵をずっとやりたかったんだけど、油絵の画材はとても高くてね。だから、社会人になって初任給で画材を買い揃えて、念願の油絵を描いたんだ。」
その時、初めて描いた油絵は人生一番の大作で半年かかって描き、とても思い入れのある絵になりました。
ケアハウスへ入居後、娘から「昔みたいに絵をもう一度描いてみたら？」と言われて、奮起した茂さんは、再び絵を描き始めました。油絵は臭いがきつく周りに迷惑をかけるため、ケアハウスでは水彩画を描いています。
「先日、友人から孫が産まれたと連絡があり、写真を見て書いた赤ちゃんの絵を友人に渡したらとても喜んでくれた。人に喜んでもらえるのが、絵を描いて一番嬉しい事だ。」
子供の頃から独学で絵を学び、たくさん描いている茂さん。
「若くて体も元気だったら、南フランスへ行って、多くの芸術家が愛した風景を体験してみたかった。でも、むつにもたくさんさんの素晴らしい風景がある。釜淵山展望台に行くと、むつ市の夜景「夜のアゲハチョウ」を一度見てみたい。」
茂さんは、今年で72歳になります。これからも、人生の心象風景を描き続けます。
記／渡邊 奈美子



理学療法士が、皆さまを優しい笑顔でお迎えします！

2008年7月に「みちのく金谷デイスサービスセンター」が開設してから、約12年が過ぎました。
全国の市町村では住み慣れた地域で自分らしく長く暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築が進められています。法人では、リハビリの充実・強化を図るために「みちのく金谷デイスサービスセンター」として地域の皆さまに親しまれてきた場所を、「みちのく金谷リハビリテーションセンター」として、4月1日にリニューアルオープンすることになりました。
これまで「みちのく金谷デイスサービスセンター」をご利用された多くの利用者、およびご家族の皆さまには、心から感謝申し上げます。
「みちのく金谷リハビリテーションセンター」は、自立した生活を長く送ることができるよう、一人ひとりに合わせたリハビリプログラムを提案します。
午前または午後のみ利用のリハビリ特化型となるため、食事や入浴サービスはありません。
退院後も継続したリハビリが必要な方や、加齢や関節の痛みなどで日常生活動作能力が低下してきた方はもちろん、新たな活動を目指して今よりも

「一人ひとりが自分らしい時間、生きがいを見つけれ場所」をモットーに、身体機能の改善から予防へ向けて心も体も元気にステップアップ!!
皆さまの利用を、心からお待ちしています。
記／成田 栄司

一歩進んだ健康増進に取り組みたいという方も大歓迎!!
目標に合わせて作成されたリハビリプログラムをもとに、専門職による自主トレーニングやセルフケアの指導、個別のリハビリテーション、集団体操やマシントレーニングなど様々なプログラムやリハビリ機器の活用により、利用者が主体的で活動的な時間を過ごせるようなサービスの提供を行います。さらに、新たに導入した最新の体成分分析装置(InBody470)を使い定期的に体組成評価を行うことで、より効果的な取り組みができるようにプログラムの見直しを行い、日常生活の「できる」が増えることを目指します。私たちと一緒にカラダを動かす新習慣、始めてみませんか?
ご自宅とリハビリテーションセンター間は送迎車で移動となりますが、利用者本人の運転による家用車での利用や、ご家族の送迎による利用も可能です。希望される方はぜひご相談ください。



(写真左) 結果用紙例 / (写真右) InBody470

「できる」を増やし
新たなフィールドへ
理学療法士が
あなたの新生活を
プロデュース!!



住所 むつ市金谷2-20-1
電話 0175-23-1170
(平日8:30~17:00)

**A-HACCPの
認証を受けました!!**
「特別養護老人ホームみちのく荘」「みちのく十二林ショートステイ」「みちのく金谷デイスサービスセンター」の3施設においてA-HACCPの認証を取得することができました!
A-HACCPとは、HACCP(食品の安全性確保の国際的な標準)の考え方に基づく自主衛生管理を進めている施設を青森県が認証する制度です。
福祉施設の給食で認証を取得した事業所はまだ数少ない中、無事に認証を取得できたのは、普段から衛生管理を徹底していた成果だと思えます。これからも、安全・安心・美味しい食事の提供を目指して色々な事に取り組みで行きます。



●プライバシーポリシーは、ホームページに掲載しております。

やさしい街づくりを応援しています。

水産物・青果物・食肉・冷凍食品等の卸売

有限会社
ニッショク
NISSYOKU

青森県むつ市大曲二丁目 13-35
電話 (0175) **22-7222**
FAX (0175) **22-7081**

経営のお役に立つ

あおきんリース
むつ支店

〒035-0051 むつ市新町 28-17
TEL.0175-23-0171
<http://www.aogin-lease.jp>

LINE
友だち募集中

登録で下北文化会館の「季節のプティスイーツ」プレゼント!

下北文化会館 ☎22-8411

●みちのく荘のウェブサイト (www.michinokuso.jp) にも最新情報がたくさん! みちのく荘

ペルティウィの日記



むつ市の寒さに、少し慣れてきました。勉強も頑張ります！

こんにちは、ペルティウィです。むつ市に住んで三年になります。今まで何度か東京に行き、たことがありますが、常に、公共交通機関を利用する日本の習慣に感銘を受けました。

朝と夕方は、通勤のサラリーマン、お昼ごろは買い物に行く主婦が電車に多く乗っていました。地下鉄は地上の混雑に影響されないから、急ぐ人には便利だと思います。

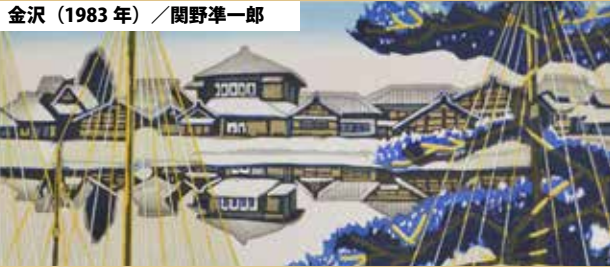
それだけではなく、日本に来て、自動販売機の普及におどろきました。切符、入場券、ラーメン、雑誌まで自動販売機で買えます。このシステムは、インドネシアでも適用されています。これらは、日本で記憶に残るものです。皆様、雪がまだ終わらないので、風邪を引かないように気をつけて下さい。

●ティウィさんの自筆です。

ペルティウィさん(通称ティウィさん)が当法人で勤務し始めて、今年で3年目になります。現場での業務の他に、介護技術と日本語を週1日学び、昨年の7月と今年1月には東京で研修を受けるなど多忙な日々を過ごし、年々介護技術と日本語が上達しています。利用者と楽しく接しながら、介護福祉士を目指し、頑張っていると思います。

〈編集委員〉

金沢(1983年)／関野準一郎



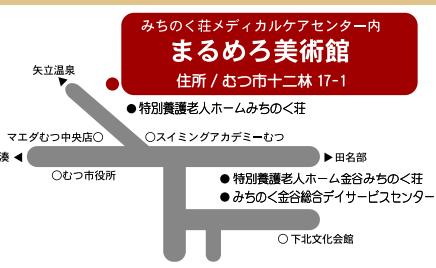
関野準一郎記念 まるめろ美術館ご案内 「水辺の風景」展

期間／2月7日(金)～6月2日(火)

開館時間／10:00～16:00

資料代／300円(中学生以下無料)

休館日／第一水曜・第一木曜・土・日・祝日・年末年始



みちのく荘で働く仲間たち 第9回 社会福祉士

●社会福祉士ってどんな仕事？

社会福祉士は、国際的には「ソーシャルワーカー」と呼ばれています。身体的・精神的・経済的な理由によって日常生活を送るのに支障がある人からの相談を受け、日常生活がスムーズに営めるよう支援を行ったり、困っていることを解決できるように他分野の専門職と連携したり、必要となる社会資源を開発することを担う、国家資格として認められた社会福祉専門職です。



名前：加藤 文次(かとう ふみたけ)
出身地：むつ市川内町
所属：むつ市地域包括支援センターみちのく

加藤社会福祉士は福祉系大学を卒業後、当法人の介護職として特別養護老人ホームを皮切りに訪問系・通所系サービスに従事し、2004年に国家資格である「社会福祉士」を取得しました。

現在は「むつ市地域包括支援センターみちのく」で社会福祉士として、他の保健師、主任介護支援専門員のメンバーと共に、「介護予防ケアマネジメント」「総合相談」「包括的・継続的ケアマネジメント支援」の各業務を行っています。

また、独居・夫婦世帯の高齢者の安否確認、成年後見制度利用のための援助、消費者被害や虐待問題解決など、公的制度の狭間に存在する様々な課題解決に向け、医療・福祉・教育・司法などの分野を横断し、各分野の専門家・支援者と連携しながら、活動しています。

ある日、信販会社のお客さま相談室からの連絡で、通信販売を断れず高額な買い物をしている高齢者がいるとの情報で、自宅を訪問しました。最初は特別変わりなく暮らしていると思いましたが、数回訪問する中で、認知症があるため適切な判断ができないことが判明しました。消費生活センターや弁護士に相談し、残金を取り戻すことができたことが、今でも印象深い出来事だったそうです。その方はその後「成年後見制度」を活用し、現在は施設で暮らしています。

「これからも社会福祉士として、生活上の困ったことを解決するようお手伝いをし、相談援助における高い専門性を活かしながら『あずましい(心地よい)暮らし』ができるよう他専門職と連携していきたいと思っています。」と力強く語りました。

かからない、うつさない!! みちのく荘の 感染症対策

例年11月から春先までウイルスや細菌によって引き起こされる感染症の流行が懸念されています。

代表的なインフルエンザウイルス・ノロウイルス・新型コロナウイルスなどは、集団感染しやすいウイルスで、人から人へと感染が拡大していきます。

当法人では青森県感染症発生状況をもとに、感染症マニュアルに沿った面会規制や施設消毒など感染予防に努め、安全にそして安心できる生活環境を整えるよう心掛けています。必要に応じ青森県看護協会から「感染管理認定看護師」を招き、アドバイスをもらうこともあります。

職員については出勤時の手洗い・うがいや、一行為・一歩を徹底し、インフルエンザ流行シーズンは出勤時に玄関で検温を行い、37度3分以上ある場合は職場に入らずクリニックを受診するよう指導しています。また、全職員マスクの着用を義務付け、特養ユニット内へ立ち入る際は、全身の消毒を都度行います。

各事業所では年2回の感染症研修を実施し、感染症についての知識と、ノロウイルス発症時等の吐物処理の技術を身につける機会を設けています。感染症が疑わ

当法人では、感染症について様々な「予防策」や「対応策」などの手順を標準化し、そのマニュアルを職員へ公開・指導して、感染症予防に努めています。

れる吐物や排泄物については「エコムシウ」を使用し、菌やウイルスを密封し二次感染を防ぎます。



各事業所玄関には「自動手指洗浄消毒器・自動うがい器」を設けており、この予防対策の様子はNHKでも紹介されました。職員だけでなく面会者や各業者の方々にも、施設内へ入る際の手洗い・うがいの協力をお願いします。



原則である「(ウイルスや細菌を)持ち込まない、広げない、持ち出さない」を念頭に、集団感染ゼロを目指しています。

2021年度新卒採用 募集開始のお知らせ

青森社会福祉振興団では、2021年度新卒採用の募集を開始します。

募集職種の求人内容は、当法人ウェブサイトに(採用情報を参照ください)。

募集職種

- 介護職
- 専門学校・短期大学・大学
- 正看護師／専門学校・短期大学・大学
- 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
- 専門学校・短期大学・大学
- 調理員／専門学校・短期大学

雇用形態

正職員(試用期間6ヵ月)

応募資格

- ①2021年3月卒業予定者
- ②卒業後概ね3年以内の学卒者

その他

下北郡外からの受験者で、ホテル等に宿泊される方は、宿泊費5000円(一律)を補助します。

お問い合わせ

社会福祉法人 青森社会福祉振興団 人材部／畑中

電話／0175(23)1600

スマートフォンをお持ちの方はこちらのQRコードからもアクセスできます。



やさしい街づくりを応援しています。

お暮らへエネルギーの創造と革新を提供し、経済・社会の発展に努めます。

ENEOSグローブエナジー株式会社
URL <http://eg-energy.jp/>

むつ支店：むつ市南赤川町10-27
TEL 0175-22-8320

し尿収集運搬業・浄化槽保守点検・清掃業一般・産業廃棄物収集運搬業
下水道管渠清掃カメラ調査、下水終末処理場維持管理業

谷川環境衛生開発(株)
代表取締役社長 谷川 聡

本社：むつ市新町 41-1
TEL. 0175(22)2659 FAX. 0175(22)7783
フリーダイヤル 0120-12-2659

快適な環境づくりのお手伝い

○介護用品のレンタル・販売(車いす・ベッド・リハビリ機器他)
○住宅改修

株式会社 シルバーサービス
〒035-0033 むつ市横迎町 2-9-13
TEL 0175-22-9511

まるめろ奨学金を
利用しませんか？

「医療・福祉分野で活躍したい」と考えている学生を応援する奨学金制度です。卒業後に当法人で一定期間働くことで、返済が免除されます。

ご相談、ご利用希望の方は、お気軽にお問い合わせください。

《対象》
大学生・短大生・専門学生・高校生等

《貸与額》
① 各国家資格取得(介護福祉士／理学療法士／作業療法士／言語聴覚士／看護師)を目指す学生：月額5万円
② ①以外の高校生：月額3万円

《お問い合わせ》
社会福祉法人 青森社会福祉振興団 人材部 畑中
TEL／0175(23)1600